

1 単元名 相手との駆け引きを楽しもうテニピン

2 単元の目標

○ラリーをつなげたり、ねらったところにコントロールしたりするコツを理解し、実践することができる。 【知識及び技能】

○ラリーを続けたり得点をしたりするために、ボールを打ち返すための方法や打ちやすい場所などについて考えると共に、考えたことを友達に伝えたり、友達からのアドバイスを自身の動きに生かしたりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】

○安全に気を付け、ルールを守りながら、友達と協力してゲームに取り組んだり、教え合ったりすると共に、試合の勝敗を受け入れながら運動している。 【学びに向かう力、人間性等】

3 基盤

※省略

4 単元計画(全9時間)

学習活動	教師の働きかけ	主な評価の視点
テーマ1：テニピンラリーをやってみよう		
①テニピンという競技についてや基本的なルールについて知る。	○日本テニス協会公式 YouTube チャンネルを活用し、動画を視聴させることで、本単元で取り組むテニピンについてイメージや、活動への期待感や意欲をもたせるようにする。	・ラリーを続けるために必要なスキルについて、自身の考えをもつことでできている。 【思】
②チームで試しラリーゲームに取り組む。	○試しラリーゲームに実際に取り組ませることで、テニピンの面白さや難しさを共有し、ラリーを続けるためには、様々なスキルが必要であることに気付くことができるようにする。	・ボールの落下点に瞬時に移動したり、ねらったところにボールを打ったりしている。 【知】
③ラリーを続けるためのスキルアップ活動に取り組む。	○ボールの落下点に移動したり、ねらったところに打ったりすることができるようにするために、「キャッチ&ラリー」や「ペアラリー」などの課題別練習を設定する。	・ラリーを続けるためのコツについて、自分なりの言葉でまとめている。 【思】
④ラリーを続けるコツを見つける。	○ラリーが続くチームを取り上げ、実際のパフォーマンスを見合い、コツを見つける活動を通して、ラリーを続けるために必要なポイントを押さえるようにする。 その際、動き方(落下点を予測して、打ちやすい場所へ移動することや、打ち方について確認する。	
テーマ2：戦術を練って得点しよう		
⑤試しゲームに取り組む。	○チーム同士で試合を行い、得点を付けることで、得点を取るためには、どのようなスキルが必要なのか考えさせ、今後のスキルアップ活動への意欲をもたせるようにする。	・試しゲームを基に、得点するためのコツを考えている。 【思】
⑥得点をとるためのスキルアップ活動に取り組む。	○どうしたら得点を取りやすいのか全体で共有することで、スキルアップ活動の必要性をもたせるようにする。その際、相手の位置を確認した上で、打つ場所考えることの重要性に気付くことができるようにする。	・相手の位置を確認してボールを打つことができている。 【知】
⑦ゲームに取り組む、チームに必要なスキルアップ活動を考える。【本時】	○ゲームをした上で、チームの強みや課題点等を話し合わせることで、試合で勝つためにチームに必要なスキル活動を見出させ、工夫してスキルアップ活動に取り組むことができるようにする。	・チームで協力しながら強みや課題点について話し合っている。 【学】
⑧⑨総当たりのリーグ戦に取り組む。	○リーグ戦にすることで、活動への意欲をもたせるようにする。試合後には常に作戦会議の時間を設けることで、一人一人の役割や戦術など工夫して試合に取り組むことができるようにする。	・ゲームや作戦会議に意欲的に取り組んでいる。 ・ルールを守ったり、勝敗を受け入れたりしている。 【学】

5 授業の実際

【視点①】

子どもたちに、「テニピンというスポーツを知っているか。」と尋ねたところ、全員が「初めて知った。」と答えた。テニピンに初めて出会うことから、まずはどのようなスポーツなのかイメージを膨らますために、「日本テニス協会公式 YouTube チャンネル」を活用して動画視聴をした。子どもたちからは、「早くやってみたい。」という発言が多く聞こえた。単元の導入で動画を視聴したことは、子どもに興味・関

心をもたせる上で有効であった。動画視聴後に書かせた振り返りシートでは、「早くやってみたいけど難しそう。」「ねらったところに打てるか不安。」という意見があり、初めて行うスポーツであるからこそ、不安を感じる子どもがいた。そのため、まずは遊び感覚でボールを打ち、ラリーができるようになることが大切だと感じた。そこで、単元構成をテーマ1「テニピンラリーをやってみよう」、テーマ2「戦術を練って得点しよう」とし、テーマ1で基礎的・基本的な技能を身に付け、テーマ2で自信をもってゲームに取り組んでいくことが出来るような単元構成にした。

【視点②】

ここではテーマ1について記述する。ラリーの基礎的・基本的な技術を習得するために、様々なスキル練習を取り入れた。子どもたちは「なりたい姿」について、「ねらったところに正確に打てるようになりたい。」「ボールを確実に打ち返したい。」など、様々な理想の姿が表出した。そこで、全体の場で上手にラリーが出来ているペアを取り上げ、どうしたらラリーを続けることが出来るのかを考えさせた。ラリーを続けるためのコツについて対話を通して確認していくことで、「打つ時のラケットの面の傾け方」や「打ちやすい場所に移動してから打つ」など、ラリーを続けるためのポイントを押さえることができた。子どもたちは、ポイントを意識しながら自らにあったスキル練習に重点的に取り組むなど、なりたい姿に向かう姿勢が見られた。

【視点③】

ここではテーマ2について記述する。テーマ2では主にゲームを行い、どうしたら得点できるのかを主眼に置いて授業を行った。始めに2対2の試しゲームをチーム内で行ってみると、得点を意識しすぎてしまい勢いよくボールを打ちコントロールが上手くいかなかったり、ペアのどちらが打つのか共通認識が出来ておらず、打ち返せなかったりするなどの状況が生まれた。試しのゲームをすることで課題を明らかにすることができた子どももいたが、全員が出来ているわけではなかったため、より客観的に自身やチームの状況を把握できるようにするために、タブレットを使い、チームにおけるゲームの様子を録画することにした。録画したゲームの様子を定期的に振り返ることで、自己内対話やチームにおける対話を促し、各々やチームの良い点・課題点を見出させることができた。課題が明確になることで、それを克服するために主体的にスキル練習に取り組んだり、チーム戦術を練ったりする姿が見られた。

6 成果と課題

◎成果

- ・単元構成をラリーに主眼を置いたテーマ1とゲームにおける得点を主眼においたテーマ2のように、段階的にテニピンに取り組ませたことである。始めにラリーの基礎的・基本的なスキル練習に集中的に取り組ませたことで、自信をもってラリーをする子どもたちが多くなった。さらにテーマ2でゲームをすることを伝えておくことで、意欲をもってラリーの学習に取り組む姿が見られた。

- ・タブレットの動画機能を活用したことである。プレー状況を動画録画しておくことで、対話を通して客観的に自身やチームの良い点や課題点を把握することができた。そして、課題点を克服するために主体的にスキル練習に取り組む姿が見られた。

△課題

- ・技能を習得させる方法である。単元の中で、ラリーを続けるコツや得点を取るためのコツについて、個人やチーム内、全体で対話を図りながら確認をしていった。言葉や頭ではわかっているけど、それをいざプレーしようとする中々できない子どももいる。主体的に取り組んでいるからこそ、できるようになってほしいと切実に思う。そのような子どもに対して、どのような手立てが必要なのか考えていきたい。